



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 日本乾溜工業株式会社 上場取引所 福
 コード番号 1771 URL <https://www.kanryu.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼田 智仁
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 大谷 友昭 TEL 092-632-1050
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績(2024年10月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	4,385	△8.4	150	△50.1	160	△49.4	98	△52.9
2024年9月期第1四半期	4,787	5.0	302	18.1	317	16.8	208	49.3

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 96百万円(△53.6%) 2024年9月期第1四半期 208百万円(35.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	19.79	8.04
2024年9月期第1四半期	41.99	17.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	14,264	9,099	63.8
2024年9月期	13,927	9,117	65.5

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 9,099百万円 2024年9月期 9,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,550	5.0	1,025	3.1	1,040	3.4	680	2.0	137.18
通期	18,870	7.5	1,150	31.7	1,180	27.1	770	11.8	151.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

・通期の1株当たり当期純利益は、優先株式の配当金が未定であるため、2024年9月期の優先株式の配当率を使用した配当金を当期純利益から控除し、算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年9月期1Q	5,102,000株	2024年9月期	5,102,000株
2025年9月期1Q	144,854株	2024年9月期	144,854株
2025年9月期1Q	4,957,146株	2024年9月期1Q	4,957,205株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

第1回優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年9月期	—				
2025年9月期(予想)		0.00	—	未定	未定

(注) 2025年9月期の予想につきましては、配当年率が2025年10月1日の日本円TIBOR(6ヶ月物)に1.5%を加えた率によるため、現時点では未定とさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続きましたが、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など景気の下押しリスクを抱えており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが主力事業とする建設業界におきましては、建設資材価格の高騰や建設労働者不足による労務費の高止まり等が続いており、受注環境は依然として厳しい状況で推移しているものの、公共投資は底堅く推移いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は、官公庁による工事発注の遅れの影響に伴い工事の進捗が低調に推移したことにより43億85百万円（前年同四半期比8.4%減、4億1百万円減）、営業利益は1億50百万円（同50.1%減、1億51百万円減）、経常利益は1億60百万円（同49.4%減、1億56百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は98百万円（同52.9%減、1億10百万円減）となりました。

なお、当社グループの業績につきましては、主力事業である建設事業の通常の営業形態として、売上高が第2四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設事業)

建設事業における工事につきましては、土木工事分野は、防災・減災・国土強靱化対策としての法面関連工事・メンテ関連工事は前年並みに推移しましたが、交通安全分野は前年同四半期の高規格道路における遮音壁補修・取替等の大型工事が減少したことから、完成工事高は前年同四半期を下回りました。

また、建設工事関連資材の販売につきましては、土木関連資材販売は前年並みに推移しましたが、主力の交通安全施設資材販売が減少したことから、商品売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、建設事業の売上高は38億68百万円（前年同四半期比9.8%減、4億19百万円減）、セグメント利益は2億90百万円（同32.8%減、1億41百万円減）となりました。

(防災安全事業)

防災安全事業の業績につきましては、官公庁が発注する防災用品の販売は減少したものの、工場等で使用する保護具等の安全衛生用品の販売が増加したことにより前年同四半期を上回りました。

以上の結果、防災安全事業の売上高は5億16百万円（前年同四半期比3.4%増、17百万円増）、セグメント利益は29百万円（同126.4%増、16百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、142億64百万円（前連結会計年度末比2.4%増、3億36百万円増）となりました。

資産につきましては、流動資産が108億58百万円（同3.2%増、3億38百万円増）となりました。その主な要因は、現金及び預金が7億38百万円減少しましたが、第1四半期連結会計期間特有の傾向として売上債権の残高が前連結会計年度末と比較して増加傾向にあることから受取手形・完成工事未収入金等が9億95百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、34億5百万円（同0.0%減、1百万円減）となりました。その主な要因は、事務所建替えに伴い有形固定資産が86百万円増加しましたが、のれんや顧客関連資産の減価償却に伴い無形固定資産が49百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、51億64百万円（同7.4%増、3億54百万円増）となりました。その主な要因は、法人税納付に伴い未払法人税等が2億82百万円減少しましたが、第1四半期連結会計期間特有の傾向として仕入債務の残高が前連結会計年度末と比較して増加傾向にあることから支払手形・工事未払金等が7億38百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、90億99百万円（同0.2%減、17百万円減）となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を98百万円計上しましたが、株主配当金の支払いにより利益剰余金が1億14百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において概ね予定の範囲内で推移しており、2024年11月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,430,156	5,692,086
受取手形・完成工事未収入金等	3,738,671	4,734,340
電子記録債権	210,013	260,158
商品及び製品	116,685	130,637
原材料及び貯蔵品	627	135
その他	26,564	44,878
貸倒引当金	△2,446	△3,910
流動資産合計	10,520,272	10,858,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	539,083	718,327
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	85,702	109,912
土地	1,008,840	1,008,840
建設仮勘定	116,009	-
その他（純額）	17,087	15,845
有形固定資産合計	1,766,723	1,852,925
無形固定資産		
のれん	522,757	496,619
顧客関連資産	198,706	188,770
その他	261,724	248,379
無形固定資産合計	983,188	933,770
投資その他の資産		
投資有価証券	530,951	527,178
差入保証金	17,084	16,952
その他	116,734	82,581
貸倒引当金	△7,419	△7,456
投資その他の資産合計	657,351	619,256
固定資産合計	3,407,263	3,405,952
資産合計	13,927,535	14,264,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,147,891	3,886,181
短期借入金	115,200	115,200
未払法人税等	315,547	32,664
未成工事受入金	32,357	50,773
賞与引当金	213,875	89,701
役員賞与引当金	26,980	-
株主優待引当金	4,900	-
その他	370,553	442,570
流動負債合計	4,227,304	4,617,090
固定負債		
長期借入金	214,400	185,600
退職給付に係る負債	115,639	116,585
その他	253,139	245,517
固定負債合計	583,178	547,702
負債合計	4,810,483	5,164,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,675	413,675
資本剰余金	698,570	698,570
利益剰余金	7,816,088	7,799,993
自己株式	△56,810	△56,810
株主資本合計	8,871,523	8,855,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	256,492	254,008
退職給付に係る調整累計額	△10,963	△9,952
その他の包括利益累計額合計	245,529	244,056
純資産合計	9,117,052	9,099,484
負債純資産合計	13,927,535	14,264,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	4,787,252	4,385,385
売上原価	3,745,937	3,452,809
売上総利益	1,041,315	932,576
販売費及び一般管理費	738,952	781,832
営業利益	302,362	150,743
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,516	4,728
受取賃貸料	4,153	2,486
受取手数料	2,464	1,598
その他	3,320	4,877
営業外収益合計	16,454	13,690
営業外費用		
支払利息	1,088	1,233
支払手数料	18	13
その他	4	2,462
営業外費用合計	1,111	3,709
経常利益	317,705	160,724
固定資産売却益	-	399
特別利益合計	-	399
税金等調整前四半期純利益	317,705	161,124
法人税、住民税及び事業税	71,617	28,857
法人税等調整額	37,920	34,176
法人税等合計	109,538	63,034
四半期純利益	208,167	98,090
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	208,167	98,090

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	208,167	98,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,146	△2,484
退職給付に係る調整額	2,376	1,011
その他の包括利益合計	229	△1,472
四半期包括利益	208,397	96,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,397	96,617
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,287,936	499,315	4,787,252	—	4,787,252
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,287,936	499,315	4,787,252	—	4,787,252
セグメント利益	432,465	12,814	445,279	△142,916	302,362

(注) 1. セグメント利益の調整額△142,916千円は、報告セグメントに配分していない全社費用142,916千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,868,864	516,520	4,385,385	—	4,385,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,868,864	516,520	4,385,385	—	4,385,385
セグメント利益	290,506	29,011	319,517	△168,773	150,743

(注) 1. セグメント利益の調整額△168,773千円は、報告セグメントに配分していない全社費用168,773千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	44,182千円	47,706千円
のれんの償却額	26,137千円	26,137千円